



第19号 令和 5年 3月 発行

あたたかいやわらかな風に春の訪れを感じるようになりました。生活リズムを整えながら、手洗い・手指消毒を行い、感染予防に気を付けていきましょう。

保護者の声 ~アンケートより~ ※配布期間 R4.11.25~R4.11.30 (R4.4~R4.11 利用者対象)

この度、保育サービス向上のためアンケートを実施いたしました。ご協力して下さった保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。その中からいくつかをご紹介します。

毎回、病児保育申込書など記載書類が多くて大変に思うことがあります。

いつも書類を記載していただきありがとうございます。病児保育申込書については、初回は記載していただきますが、2回目以降は変更があった場合のみ記入していただく簡素化した書類に変更しました。

病状連絡票、診療同意書 兼 与薬依頼書については、お子さんの病状を把握し、適切な保育、看護を行うために必要な書類になりますのでお忙しい中、お手数をおかけしますが引き続きご協力をお願いできればと思います。

病院との連携をとってくださっているし、日中の様子や家で気を付けることも話してもらえてありがたいです。病気の回復期、園に行かせるにはまだちょっと…という時にお世話になっています。体調に合わせた保育をして下さりとても助かっています。

急性期~回復期まで様々な症状のお子さんが利用しており、必要に応じて外来での処置や入院など、医師の診断によって迅速に対応しています。

1日の様子は、回診結果と共に日誌に記入してお伝えしますが、気になること等ありましたらお気軽に声をかけてくださいね。

いざというとき、すぐに利用できるよう事前に登録されていると安心です。

受付時間 平日 8:00~18:00

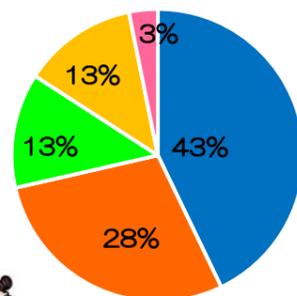
〒790-0067

松山市大手町2丁目1-3

松山市民病院 病児保育アイビー

TEL 089-968-1319 (直通)

利用状況(R4.12~R5.2) 延べ196人



咽頭炎・上気道炎etc...

胃腸炎・嘔吐下痢症

インフルエンザ

ヒトメタニューモウイルス

ヘルパンギーナ

クループ症候群

小児科 有元医師より



感染症あるいはアレルギー反応によって喉頭(声帯のまわり)に炎症による浮腫(むくみ)が生じ、急に犬吠様咳嗽(オットセイの鳴き声のような咳)、嘔声(声がれ)、吸気性喘鳴(息を吸うときのゼイゼイ音)といった症状が起こります。感染症の原因はパラインフルエンザウイルス、インフルエンザウイルス、RSウイルスが代表的で、高熱を伴う事もあります。コロナウイルスの感染でもクループ症状が起こることがあります。

○治療

医療機関での吸入、ステロイド薬の投与(内服か点滴)を行います。

乳児のクループ症候群や呼吸困難症状が強い場合には入院での酸素投与を含めた治療が必要で、さらに呼吸困難が進むときには気管内挿管が必要になる事もあります。

○ホームケアについて

部屋が乾燥しない程度に加湿しましょう。クループ症状が軽くなった後も咳や鼻汁、熱などの風邪症状は数日続きます。かぜ症状に対する治療を続けつつ、自宅で安静に過ごしましょう。クループになった子はまたなることがあります。啼泣はクループを悪化させるので、できるだけ泣かせないようなケアをしていきましょう。夜中に発症する事が多く、朝に改善する事があります。気になる咳があれば咳の録音などがあれば診察時に咳が消失していても有用です。

オットセイのような咳が続く、夜眠れないほどの咳が続く、呼吸がしんどそう、ぐったりしているなどの症状があれば速やかに医療機関を受診しましょう。

加湿について

看護師より

寒さはやわらいできましたが、まだまだ空気は乾燥しており、暖房によって部屋の湿度も低くなりがちです。また冷たい空気やほこりに敏感に反応して咳が出現します。咳が出ている時は特に加湿に気を付けましょう。

濡れたタオルを部屋にかけたり、加湿器を使用して湿度を50~60%に保てるようにしましょう。冷たすぎない水分をこまめに摂らせてあげたり、食事の形態も工夫しましょう。(水分を多く含む物にしたり、酸味のある柑橘は避けましょう) またマスクは口腔内の乾燥予防にもなります。

★アイビーでは年間を通して50%~60%の湿度を保つようにしています。

